

県民の森の平成24年度管理状況

施設所管課	観光交流局 交流政策課
指定管理者	県民の森地域振興会 会長 空 喜代士
指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容	具体的な業務の実施状況
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 接客マナーについて職員間で意見交換を行い、接遇の向上に努めている。 電話対応、施設案内は丁寧に行なうよう努めている <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートなどにより意見を把握、対応している <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 芝生広場に自主制作した遊具を設置した（新規） 芝生広場で夏季に日除け用のテントを設置した（新規） 園内での自転車貸出し 溪流で子供が川遊び出来るよう整備し、また、手作りの筏を毎年、設置している
利用の促進に関する業務	<p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験教室等の開催（参加人数97人） <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> パンフレットを小学校、保育園、児童館などの公共施設に送付し、来園者・県庁来庁者等に配布 地元ケーブルテレビで全イベント情報を放映 新聞、専門誌、市広報、地域季刊誌に掲載 <p>周辺地域、関係機関との連携・協力の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 加賀市生涯学習課と連携し、イベントを実施 内水面水産センターとイベント情報を共有し、それぞれの施設でポスター等を掲示 加賀市の児童館・保育所と連携し、遠足、植樹、炭焼き体験等を開催
使用の許可に関する業務	(2) ② のとおり

<p>施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務</p>	<p>清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園内（毎日）、各施設全般（使用前・使用后） ・ パノラマコース等の登山道の清掃 ・ 園内危険倒木等の撤去 ・ 水源地の土砂、落ち葉は随時清掃 ・ 川遊びの溪流を随時清掃 <p>保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防設備、飲料水質検査、浄化槽は専門業者に委託 ・ 施設・道路・防火水槽は職員が随時保守管理 <p>警備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開園期間中は毎日見回り ・ 日帰り客が遅くなる場合は残って対応 <p>小規模修繕</p> <p>郷土館 屋根修繕 雨天休憩舎 瓦修繕 バンガロー 塗装6棟 ログハウス・ケビン 畳取替 排水施設 防火水槽、園内各排水管破損パイプ修理 駐車場 手作業で駐車ライン引き直し 園内案内看板新設3基、補修15基</p> <p>その他 ログハウスポーチ修繕、バリアフリー歩道の手摺修繕、旗ポール新設及び木橋・階段など遊歩道の補修</p>
<p>（その他知事が必要と認める業務）</p>	<p>緊急時の対応・安全管理などの危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の対応マニュアルを作成し対応 ・ 消防避難訓練を実施 ・ 怪我などに備え簡易な薬品を常備 ・ ログハウス、管理棟に緊急時の連絡先を明示 <p>個人情報管理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務仕様書に基づき利用者名簿を適正に保管 <p>研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康の森を訪問し、他の管理現場を見学し、意見交換などを通じて管理技術を研鑽した

（2）施設の利用状況

① 利用指標

指 標	H 2 3 年度 (参考)	H 2 4 年度	前年度比	増減理由
入園者数（人）	29,591	30,983	104.7 %	猛暑で涼を求める需要及び紅葉の当たり年で増加した

②使用許可等の状況

施設名	許可件数	不許可件数	不許可理由
-	-	-	

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

施設名	収入額(円)	減免額(円)	減免理由
テントサイト	71,980		
貸出テント	21,960		
バンガロー	123,460		
ケビン	522,690		
ログハウス	842,820		
バーベキュー舎	141,300		
計	1,724,210		

(4) 収支決算

(千円)

収 入		支 出	
管理料	20,900	人件費	16,399
利用料収入	1,724	光熱水費	844
その他	144	修繕費	290
		委託料	852
		消耗品費	494
		その他	3,880
合計	22,768	合計	22,759
収支差額	9		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)

①利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果(平成24年4月~平成24年11月 有効回答数40件)

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	82.5%	15.0%	2.5%	0.0%
施設の維持管理	77.5%	20.0%	2.5%	0.0%

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
平成24年4月 ~平成24年11 月	・駐車場の枠線が消えていて、分かりにくい ・コース看板が倒れている	・自らラインを引き直した ・建て直した

②事故、故障等

年 月	内 容	対 応
平成 24 年 5 月	入口WC横の側溝破損	修理
平成 24 年 5 月	バーベキュー舎WCの電灯故障	新設
平成 24 年 6 月	正面芝広場炊事場の水道管破損	掘り返して交換

③その他報告事項など

特になし

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	B	・ 地元保育所や児童館などと連携し、昔ながらの山村生活体験や溪流遊びを企画するなど、自主事業を積極的に展開している。 ・ 新たに、自主制作遊具を設置し、また、夏季の日除けテントを設置するほか、類似施設の視察をするなど、サービス向上を心がけた施設管理が行われている。
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・ 施設内はもとより、園内の草刈りや林道管理が行き届いており、仕様書等に基づき適切な管理がなされている。また、遊歩道の丸太階段なども機能を失うより先に修繕し、また、案内看板を新設するなど、小まめな維持管理に気を配っている。
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	・ 非常時の連絡体制やマニュアルが定められている。
総合評価	B	・ 山間部の地理的特徴を活かし原生林の散策コースを設置するなど、設置目的にあった運営がなされている。

○評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

特になし